

# Aトラック

## メタウェア 2.0 と YURUISM

本橋 正成（ゆるイズム研究所所長／ものがたりデザイン共同設立者）  
濱 勝巳（株式会社アズーリ代表取締役／株式会社アジルコア専務取締役）  
羽生田 栄一（IPA 主任研究員／株式会社豆蔵デジタル HD グループ CTO）

本トラックの大きなテーマは「思考の技法」です。

人は常に思考していますが、適切な状況に応じて、適切な思考を選択することができる、技法としての思考が必要です。知識を使った多くの知的な仕事が AI によって置き換えられるようになってきた現在において、複雑化していく、これからの知的社会の中を生き抜いていくためには、どのような思考が必要なのか、AI に対抗できる思考を技法として身につけるためにはどのようにすれば良いのかを議論していきたいと思っております。

本トラックは、三章構成で実施します。

まずは、本シンポジウムの基調講演「知を働かせる YURUism」の講演者である本橋 正成氏の「YURUism」の理解を深めます。次に、濱 勝巳氏が提唱する「メタウェア」から技法としての思考について考えます。最後に、羽生田栄一氏のファシリテーションでゆるりとした議論をしたいと考えています。

知識を得るのではなく、頭の中をストレッチして、各人が自由に新たなものの見方やアイデアに気づいてもらえることを望んでいます。皆様の参加をお待ちしております。

## 第一章：「YURUISM」を深掘る

基調講演「知を働かせる YURUism」の本橋 正成氏を中心に「YURUism」の理解を深めます。

心を解き放ち、世界を変革しよう。思考を革新し、変わりゆく世界でポジティブな変化を生み出す力を与える画期的な哲学を体験してください。YURUism は個人の成長や職業上の成長のための変革的な語彙を提供します。複雑さを乗り越え混乱の中で調和を見つけ明るい未来を創造するためのツールを手に入れることができるでしょう。

## 第二章：「メタウェア 2.0」で斬る

自己的と社会的、主観的と客観的という二つの軸で分類したメタウェア・レベルを用いることで、思考の発達とはどのようなものなのか、思考を発達させるにはどのようにすれば良いのかを理解することができる濱勝巳氏の提唱する「メタウェア 2.0」をご紹介します。皆様と共に「思考の技法化」とは何かを考えてみたいと思います。

## 第三章：「AI 時代の思考技法」を考える

羽生田 栄一氏のファシリテーションで、「AI 時代の思考技法」というゆるいテーマから時間の許す限り、ゆる〜く、議論を始めてみたいと思います。最後はどんなテーマで何を話しているのか乞うご期待。

